



ゆづりは

堺市立図書館だより

第9巻 第4号 (通巻34号)
 発行日 平成27年3月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

貴重資料「和漢書」のご紹介



中央図書館では、古家太郎兵衛氏等から寄贈された、主として江戸時代^{こけ}に出版または筆写された資料を中心に、約4,000冊の和漢書を所蔵しています。これらの資料は、戦時中、空襲による被害を避けるため、蔵書の一部を疎開させたり、書庫に防護壁を作るなどの努力によって、1945年7月の堺大空襲で図書館全館が焼失したにもかかわらず、辛くも消失を免れた貴重な資料です。

いったいどんな資料なのか。いくつか選び、ご紹介しましょう。

「松下村塾 教本など」

幕末、吉田松陰は松下村塾で、儒学、兵学、史学、世界情勢、思想など、幅広い分野を教えたと言われます。

当館所蔵の資料の中にも、400冊以上、松下村塾の教本とされる書籍と同じ書名の資料(『孟子』、『論語白文』、『禮記』等)を見ることができます。



『孟子』↑



みやこふうぞくけわいでん
『都風俗化粧傳』↑

「女性の装い(江戸時代)」

当館所蔵の資料の中には、数冊ですが、江戸時代の美容やお化粧に関するハウツー本があります。挿絵に描かれた美人の顔や、彩色を施された衣装から当時の文化が伝わります。顔の特徴に合わせた化粧の仕方などが記されていて、興味深い資料です。

◆これらの資料は、手にとってご覧いただけます。ご希望の方は、中央図書館カウンターまでお申し出ください。(貸出は出来ません)

お知らせ 中央図書館の展示

中央図書館玄関ロビーで、平成27年3月1日から29日まで「書物の中の利休」と題した和漢書の展示を行います。『喫茶南方録』『茶話指月集』などには、利休の人となりや、茶の湯に対する考えを伝える逸話が数多く書き残されています。

普段は桐箱に入れ、書庫で大切に保存している資料を間近にご覧いただける機会です。ぜひ、お立ち寄りください。

和漢書を保管する桐箱(書庫)→



『喫茶南方録』↑



目次

貴重資料「和漢書」のご紹介 ... 1

「堺市図書館友の会のあゆみ展」報告 ... 2

大学と連携した地域づくりに向けて 羽衣国際大学×西図書館 ... 2

シリーズ堺の〇〇 石津の風車 ... 2

この本で解決! ~健康診断の検査値について~ ... 3

堺かるた いろはの「ふ」 ... 3

司書のイチ押し! ★個性派事典のあれこれ★ ... 4

堺市立図書館電話番号一覧 ... 4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
 ゆづりゆづりて 譲り葉の
 ゆづりしあとに また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。



「堺市図書館友の会のあゆみ展」
報告

「堺市図書館友の会」は、昭和48年から42年間にわたり、図書館とともに堺市の読書振興を支えて来られました。

会の活動を広くご紹介するため、平成27年1月23日（金）堺市役所本館1階エントランスホールにて、「堺市図書館友の会のあゆみ展」を開催しました。



会のあゆみを紹介するパネル掲示と、会が主催する読書会で取り上げた約450冊の本の展示を行いました。

「堺市図書館友の会」は毎月1回読書会を開催しています。活動内容や入会手続き等、詳しいお問い合わせは中央図書館まで。

大学と連携した地域づくりに向けて

羽衣国際大学×西図書館

西図書館では、平成27年3月22日（日）午前11時～12時、羽衣国際大学との連携事業として、留学生による中国語での絵本の読み聞かせや、馬頭琴の演奏などを行う「いろんなことばで絵本を楽しもう-中国からニーハオ-」を開催します。

大学の学生・教員が持つ専門スキルと地域のニーズを結び、地域振興につなげることを目的に、図書館で初めて実施する事業です。詳しくは、西図書館まで。



馬頭琴の頭の部分



『スーホの白い馬』
大塚勇三／再話
赤羽末吉／絵
福音館書店

西区では、平成26年3月に羽衣国際大学と包括連携に関する協定を締結し、大学と協働した地域づくりや人材育成を進めています。

シリーズ 堺の〇〇

石津の風車

堺市の湊から石津・浜寺にかけての地域は明治初年頃まではほとんどが農地で綿、菜種、葉たばこなどが栽培されていました。

ところが、外国からの安い綿が輸入されると、綿の栽培は衰え、代わりにネギ、ミツバ、キクナ、ホウレンソウなどの野菜が栽培されるようになりました。石津地方は昔海だったため砂地が続いていて、井戸を3、4メートル掘ると地下水がわき出るなど、野菜作りに適していたのです。生産された野菜は大阪市の木津市場などに出荷されました。

これらの野菜作りには大量の水が必要で（10アールの畑を潤すのに、1日9.5トンもの水が必要でした）、井戸から水をくみ上げるだけでも2時間以上もかかる大変な重労働でした。

大正時代末、石津に住んでいた和田忠雄さんは小学校時代に使っていたクレヨンの箱にかかれていた風車の絵をヒントに風車の力を利用して井戸から水をくみ上げることを思いつきました。

試行錯誤の結果、六枚羽の風車を作り、風車が浜風を受けて回る力で井戸の水をくみ上げることに成功したのです。風車はたちまちのうちに広まり、最盛期の昭和10年代には200基を超える風車が湊から石津・浜寺にかけての地域に並びました。風車1基で1日に25.2トンもの水をくみ上げることができたそうです。



昭和三十五年撮影

しかし、昭和30年代に臨海工業地帯が造成されて海岸が埋め立てられると浜風が弱くなり、風車はだんだん用をなさなくなって、その数を減らしていきましました。今ではこのあたりはすっかり住宅地となり、風車が立ち並んでいたころの面影はありません。

参考文献

-図書名-	-編著者-	-出版社-	-発行年-
『大阪・いまとむかし』	朝日新聞社会部／編	中外書房	1967
『堺市史 続編』第3巻	堺市／編集・発行		1972
『北村五一郎遺稿集 堺の民俗と歴史』	北村五一郎遺稿集刊行会／編・発行		1974
『いしづ百年』	堺市立浜寺石津小学校開校100年創立50周年記念行事委員会／編	堺市立浜寺石津小学校	1976
『むかしの堺 続編』	別所やそじ／共著	堺児童文化振興会	1979
『大阪の理科ものがたり』	大阪府理科教育研究会／編	日本標準	1981
フェニックス1997年4月号	ゼネラル石油（株）堺製油所		1997

この本で解決！ ～健康診断の検査値について～

今回は「健康診断の検査値」についての事例をご紹介します。

病気の予防や早期発見のために病院や医療機関で健康診断や検査を受けますが、その検査結果は多くの項目と数値で表されていて理解するのが難しいですね。

そんな時こそ、図書館の資料をお役立てください。



Q.血液検査結果のアルファベットで表記されている意味がわからない。血液の成分が理解できる本が見たい。(2011年の事例)

A. まず‘検査’をキーワードに検索すると『検査のすべて』(小橋隆一郎/著 主婦の友社/2003)という本が見つかりました。定期健診、人間ドック、精密検査等で行われるあらゆる検査について書かれており、症状別にどうい

新しい資料のご紹介

-図書名-

-編著者-

-出版社-

-発行年-

-図書名-	-編著者-	-出版社-	-発行年-
『検査と数値を知る事典』	和田高士/著	日本文芸社	2012
『ミッフィーのよくわかる病院の検査と数値のみかた』	奈良信雄/監修	エクスナレッジ	2012
『健康診断の検査値の読み方がズバリわかる本』	今井一/監修	PHP 研究所	2013
『健康診断の検査値がとことんわかる事典』	西崎統/監修	主婦と生活社	2014
『パーフェクトガイド検査値事典』	中原一彦/監修	総合医学社	2014

検査が必要か見ることができるチャートが付いています。

P206からの「血液の異常を調べる検査」という章には、ヘモグロビン量

(Hb)や白血球数(WBC)など、各項目の詳しい解説がされているのでご提供しました。

ほかにも血液検査から連想される‘健康診断’‘人間ドック’をキーワードに調べてみたところ『人間ドック・ガイド』(村松準/編著 新興医学出版社/1999)があり、合わせてご提供しました。人間ドック受診者が自分の成績を正しく理解し評価するのに役立つように作られた本であり、各項とも要点のみ箇条書きで記載されていて一目で理解できるよう工夫されています。血液検査の項目については、Ⅱ部「一般(総合)検診」の6.「血清学検査」、7.「血液検査」、8.「生化学検査」に記載されています。



『検査のすべて』



『人間ドック・ガイド』

★ご注意！★

今回、ご紹介した事例は少し古いものですが、調べ方の案内として参考にさせていただき、医療情報は出来るだけ最新のものを求めください。

堺かるた - いろはの「ふ」

「フランス兵の肝をつぶした 土佐烈士」

慶応四年(1868年)、堺を警備していた土佐藩士がフランス兵を死傷させました。土佐藩士20名の処刑がフランス人士官の立ち合いのもと妙国寺で行われましたが、割腹の様子があまりにも酷いものだったため、11人が切腹した時点で中止となりました。

堺事件を取り上げた小説には、『堺港攘夷始末』(大岡昇平/著 中央公論社)や『くじで決まった命』(木内恭子/著 けやき書房)などがあります。



参考文献

『むかしの堺』別所やそじ・尼見清市/共著 (堺児童文化振興会)

紹介図書

『堺港攘夷始末』(大岡昇平/著 中央公論社)
『くじで決まった命』(木内恭子/著 けやき書房)

司書のイチ押し!

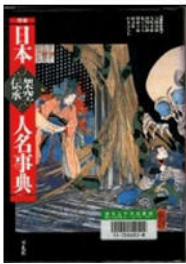
『日本架空伝承人名事典』大隅 和雄[ほか]／編 平凡社

『ザ・ベストセラー1985～2004』日外アソシエーツ／編

『健康食品のすべて 第二版』田中 平三／監訳 同文書院

★個性派事典のあれこれ★

図書館には様々な事典があります。辞書や、百科事典はお馴染みですが、中には「こんなものまであるの!？」と驚くような事典もあります。今回は、個性派の事典のご紹介です。



『日本架空伝承人名事典』

『日本架空伝承人名事典』(平凡社/2000)は、その名の通り架空の人物(風の又三郎や月光仮面など)だけではなく、実在したか不明だが逸話の残る人物(神話の登場人物など)、実像に関係なく逸話の多い人物(吉良上野介など)、人間ではない架空生物(鬼や雪女など)と様々な項目があり、読んでいただけでも楽しいものです。最近続刊が出版されて話題になった『どろぼうがっこう』(かこさとし/絵と文 偕成社/1978)は、その名の通り泥棒が通う学校を舞台にしたユーモラスな絵本ですが、この学校には、くまさかとらえもん先生という怖そうな校長先生がいます。なぜ「くまさか先生」なのでしょう。この事典を調べますと、源義経に退治された熊坂長範という盗賊の伝説があり、そこから名付けられたようです。



『ザ・ベストセラー 1985～2004』

『ザ・ベストセラー1985～2004』(日外アソシエーツ/2005)は、1985年から2004年までの書店や取次、業界紙など6機関の発表によるベストセラーを内容別に分類して構成した事典です。特筆すべきは「小説」の項目における西村京太郎氏で、実に19ページ、105冊が挙がっているのです。定期的に作品を発表し、売れ続けた証と言えるでしょう。

この事典に紹介されている過去のベストセラーは、現在書店での購入が難しいものも少なくありませんが、図書館ならご提供できます。今読み返してみるのも面白いのではないのでしょうか。



『健康食品のすべて 第二版』

昨今、新聞広告やテレビCMでよく見る健康食品に関心を持っておられる方も多いと思います。しかし、本当に効果があるのか、不安もあるでしょう。『健康食品のすべて 第二版』(同文書院/2008)は、そんな方にお薦めの事典です。国際的に権威を誇る米「ナチュラルメディスン・データベース」(NMDB)の日本対応版で、1,000種を超える健康食品について、別名、ヒトに対する有効性、安全性、他の医薬品との相互作用などが明記されています。このデータベースには、製薬と同じ高い基準を用いて分析・評価が行われ、科学的に信頼できる情報を提供するという厳格な姿勢が貫かれています。

これら事典類はその性質上、予約や貸出ができないものがほとんどですが、図書館の参考資料コーナーで是非ご覧になってみてください。(T)

堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415
中央図書館	244-3811
くすのき号	244-3811
堺市駅前分館	222-0140
中図書館	270-8140
東百舌鳥分館	234-9600
東図書館	235-1345
初芝分館	286-0071
西図書館	271-2032
南図書館	294-0123
梅分館	296-0025
美木多分館	296-2111
北図書館	258-6850
美原図書館	369-1166
人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
青少年センター図書室	228-6331
ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp
携帯ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp/m/